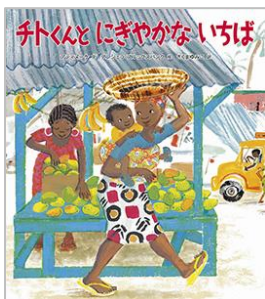




『そらからぼふ〜ん』 高島那生/作 くもん出版

ある日、そらから“ぼふ〜ん”と降ってきたもの。それは木よりもおおきいほっかほかのホットケーキ！それから“とうん”とバターが落ちてきて、さあ次は…？

大きな文字で躍動感たっぷりに書かれた“おもしろい音”は、思わず口に出してみたくなるものばかりです。みんなで読みあいっこしてみてくださいね。



『チトくんにぎやかないちば』
アティヌーケ/文 アンジェラ・ブルックスバンク/
絵 さくまゆみこ/訳 徳間書店

お母さんにおんぶされ、市場にやってきたチト。6本もらったバナナのうち1本食べて、残りはお母さんの頭のカゴにポイッ！でも、お母さんは気づきません。その後も、親切な市場の人から美味しい物が次々と…。チトに注がれるみんなの優しいまなざしに心が温くなる、西アフリカのお話です。



『もぐらはすごい』 アヤ井アキコ/著 川田伸一郎/
監修 アリス館

公園や畑で盛り上がった土はだれのしわざ？それはもぐら！

この本では、地面の下でくらすのに便利なもぐらの体の秘密や、すみかのようなすなどが、ユーモアのある絵でわかりやすく紹介されていて、驚くことがいっぱいありますよ。

図書館おすすめブックリスト

2018年12月発行

編集・発行 砺波市立図書館



ココロふるえる本との出会いで ^{ハート}♥ フル充電!!

No.7 うちどくおすすめリスト

幼児向き



『まんまるだあれ』 いまもりみつひこ/文・切り絵
アリス館

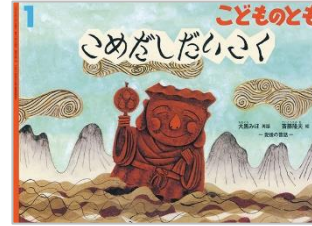
いろんな色の丸い紙がちょっとずつ変化して、ある生き物になっていきます。さあ、今度はどんな生き物が出てくるかな？想像をふくらませながらページをめくりたい絵本です。

素朴な切り絵の生き物たちを、「まんまる まんまる まんまる だあれ」と、真似して作ってみても楽しいですね。



『いろいろおしたく』 えがしらみちこ/作 小学館

おはようはなちゃん、あさですよ。さあ、園に出かけるお支度を始めましょう！朝起きて、おトイレ、おきがえ、あさごはん、はみがき…。「あさの おしたく なんだろう？」と、あてっこしながら、自然に朝のお支度を学べる絵本です。お友達の猫くんが次のヒントをくれるので、楽しく一緒にあてっこしてね。



『こめだしいこく 愛媛の昔話』 こどものとも 742号 大黒みほ/再話 斎藤隆夫/絵 福音館書店

土に埋まっただいこくさんを見つけたおじいさんは、ほりだしてもって帰り、とこのまに飾りました。するとだいこくさんの鼻の穴からおこめがぼろぼろ出るようになります。そのうわさを聞いたよくばりなおじいさんとおばあさんがだいこくさんを借りにきて…。

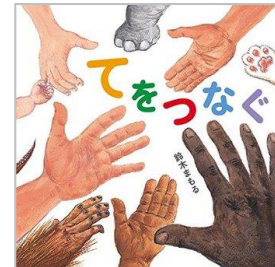
クスッと笑える絵がゆかいな、愛媛の昔話絵本です。



『かしてあげたいな』 八木田宜子/文 長新太/絵 絵本塾出版

ぼくのもちもの、いろんな動物たちにかしてあげたいな。スプーンはすべりだいに、てぶくろはぶらんこに。動物たちもよろこぶだろうな。

男の子の楽しそうな想像あそびに、思わず笑顔になりますよ。動物たちの表情もユーモラスで、今も色あせない絵本の復刻です。



『てをつなぐ』 鈴木まもる/作 金の星社

ぼくはかあさんと、かあさんはいもうとと、いもうとはとうさんと手をつなぐ。次はだれの手かな？

ページをめくると、次から次へ、手と手と手と手がつながっていきますよ！仕事がちがっても、話すことばがちがっても、地球の上で生きているのはみんな同じ。身近なぬくもりや世界とのつながりを感じられる絵本です。



『実物大！世界のどうぶつ絵本』 ソフィー・ヘン/作 藤田千枝/訳 あすなろ書房

キリン、ダイオウイカ、マメハチドリ…。それって、どのくらい大きいの？どのくらい小さいの？この本で確かめてみましょう！動物たちが実物大で描かれているので、自分と大きさを比べたり、お面のように使って遊んだりもできます。

さあ、あなたも一緒に、ホッキョクグマとハイタッチ！ベンガルトラになりきってグオオー！



『あかちゃんがどんぶらこ！』 アラン・アールバーグ/文 エマ・チチェスター・クラーク/絵 ながわちひろ/訳 徳間書店

赤ちゃんはお姉ちゃん達と一緒に海へ行きました。ところが、楽しく遊んでいるうちに、みんなは赤ちゃんのことをすっかり忘れてしまったみたい。乳母車は波にさらわれて、どんぶらこっこと海の上。でも、大丈夫。赤ちゃんには頼もしいお人形たちがついていきますから。

嵐の海で、赤ちゃんのハラハラドキドキの大冒険が始まります！